

「フィンドレー大学への協定留学（交流留学）月例報告書 10月分」

留学先大学：フィンドレー大学
氏名：堀 萌香

1.はじめに

こちらに来てもうすぐ3ヶ月になります。自分の語学力があがっていないのでは？と常に不安を抱えながらも、残り短い期間の中で自分がしたいこと、頑張りたいことを考えて毎日を過ごしています。先月の報告書では授業のことについて触れたので、今回は、fall break、home coming、アメリカのハロウィンについて書いていこうと思います。

2. Fall break の過ごし方について

10月1日～4日に fall break（秋休み）があったので、私は友達とカリフォルニアに行きました。1日目は、空港からバスを乗り継いでマッスルビーチという所に行きました。ビーチの名前からわかるように、このビーチにはサンドバッグ、鉄棒、吊り輪などたくさん筋トレができる器具が置いてあります。友達と吊り輪に挑戦してみましたが、ただぶら下がるだけでもとても大変でした（笑）カリフォルニアは10月でも夏のような暑さで、現地の人はタンクトップと短パンという格好でビーチを歩いていました。



2日目はカリフォルニアのディズニーランドに行きました。ホテルからディズニーまではバスと地下鉄を使って行く予定でしたが、乗ろうと思っていたバスが来なかったので、治安の悪さ、パークの滞在時間を考慮した結果、タクシーを使うことにしました。カリフォルニアのディズニーランドは東京ディズニーランドに比べて待ち時間が短く、長くても1時間ほどでアトラクションに乗ることができ、夜には水上パレードや花火を見ることもできました。

3日目はユニバーサルスタジオハリウッドに行きました。この日初めて地下鉄を使いましたが、至る所にホームレスの人や様子がおかしい人がいて、今まで味わったことのない恐怖を感じました。バスで移動している時には、特に治安の悪いエリアのバス停から警察官が4人ほどバスに乗車してきました。バスの窓から鉄格子や壁の落書き、ゴミ箱をあさる人々など日本で見たことのない光景を目の当たりにして日本がどれだけ安全な国なのかを感じました。ユニバーサルスタジオハリウッドでは、映画のロケ地を観光できるツアーに参加したり、ミニオンやシンプソンズ、ハリーポッターのアトラクションに乗ったりしました。アトラクション自体は日本と似ている感じでしたが、ハリウッ



ドの街並みを表現した建物や映画ツアーを通して、違いを感じることができました。旅行中は予想外のことがたくさん起こりましたが、無事に帰ってくることができたのでよかったです。

3. Home coming について

まず、Home coming はアメリカの高校や大学における秋の一大イベントで、卒業生を母校に招き、様々なイベントを開催するというものです。なかでもアメリカンフットボールのホームカミングゲームが人気です。私も実際にホームカミングゲームを見に行き、チアリーダーやマーチングバンドをはじめ、みんなで一生懸命応援する雰囲気や選手同士の激しい争いに圧倒されました。夜には、ホームカミングを祝う花火大会が開催され、マーチングバンドの演奏を聴いたり、チアリーダーのバトン披露を見たり、と日本と全く違う文化を体験することができました。



4. Halloween events について



アメリカのハロウィンは、日本のハロウィンとはレベルが違います！！まず、ハロウィンにむけて9月の終わり頃から各家庭がお墓や骸骨、クモなどのオブジェを家の周りに置きはじめます。この時期スーパーではハロウィンコスチュームやお菓子を買うことができます。大学内でもハロウィンのイベントがたくさん開催され、ビンゴ大会やパンプキンカービング、デコレーションクッキーを作るイベントなどに参加することができました。ダイニングホールでは、ミミズゼリーやクモの巣がデザインされたブラウニーなどが提供されたり、働いている人たちがコスチュームを着ていたりしていました。

ダウンタウンでは、ハロウィンパレードが開催され、子供たちがたくさんのお菓子をもたらしているところやいろんな人の本格的な衣装を実際に見ることができました。ホームパーティーでもハロウィンにちなんでホラー映画を鑑賞したり、パンプキンカービングをしたりしました。また、トウモロコシ畑ではホーンテッドハウスが設営されます。たくさんのモンスターがすぐ横から出てきたり、チェーンソーを持ったクラウンが追いかけてきたりと、西洋の本格的なお化け屋敷に圧倒されました。様々な場所でアメリカのハロウィン文化を直接体験することができたのでよかったです。

